

分担金・拠出金の名称	国際貿易センター（ITC）拠出金	評価	B
拠出先の国際機関名	国際貿易センター（ITC）		
国際機関の概要	・1964年5月、開発途上国の輸出振興策の技術的援助を行う目的で、「GATT貿易センター」として発足。 ・1995年、世界貿易機関（WTO）の発足後に「国際貿易センター（International Trade Centre）」に名称変更、WTO及びUNCTADの2国際機関の下に設立され、貿易のための援助（AFT）に特化した唯一の国際機関。 ・本部はジュネーブ、約280名の職員を有し、109ヶ国において、262プロジェクトを実施（2013年）している。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
1.（1）成果目標：ITCのエシカル・ファッションプロジェクトへの拠出を通じて、我が国の重要外交開発課題の遂行を促進し、我が国実施事業との相互補完性を高める。 活動指標：ITCの我が国重点開発課題への貢献、開発途上国における中小企業の安定促進、開発途上国の女性の地位向上		ITCは我が国イニシアチブであるTICADにも積極的に参加をしているほか、2014年12月には長であるゴンザレス事務局長が来日、我が国も拠出するエシカル・ファッションプロジェクトを中心に、開発途上国の中小企業、女性の地位向上等、我が国重要課題のラインにも沿ったプロジェクトの重要性につき、ハイレベル、JICA、JETRO等の機構等と意見交換が実施された。同プロジェクトの川下である販売網の開拓においても、積極的に進められ、伊勢丹、高島屋等のデパート、ユナイテッドアローズ（我が国アパレルメーカー）等との協業事例を成功事例とし、アジアにおける貿易のための援助推進を加速するところである。	
（2）成果目標：WTO、UNCTAD、ITCにおける我が国の発言力・影響力を確保する。 活動指標：我が国とのハイレベルにおける意見交換の実施、日・WTO・UNCTAD、ITC開発戦略対話の実施		ITCは、WTO及びUNCTADの2国際機関が共同折半出資をし、貿易のための援助に特化した唯一の国際機関であることから、ITCのプロジェクトへの拠出、参画は、WTO、UNCTADも注目しているところ、また両機関の開発分野での現場事例として、ITCにおける取組実績が大きく取り上げられるところ、ITCのみならず、両機関における我が国の発言力・影響力にも関係してくるものと考えている。	
（3）成果目標：貿易のための援助、開発分野において、フラッグシップ的なエシカル・ファッションプロジェクトへの拠出を通じ、我が国のプレゼンス向上、意見の反映に繋げる。また、ITCが適切な組織・財政マネジメントを行う。 活動指標：ITCが貿易のための援助、開発分野において影響力を発揮した実績、ITCの組織・財政マネジメント向上努力		WTO、OECD、UNの開発アジェンダにおいても、貿易のための援助の推進、グローバル・バリュー・チェーンの構築の重要性について言及されている中、バリュー・チェーンの川下である開発途上国の製造技術と、川上である先進国の販売市場を結びつけるITCのエシカル・ファッションプロジェクトは開発分野で注目される取組の1つとなっている。 また、国連会計監査委員会による外部監査により成果を評価。さらに出資元であるWTO、UNCTADにより管理され、諮問委員会（JAG）において評価報告されている。ITCは国際公会計基準（IPSAS）への移行等会計手法の改善にも努力している。	
（4）成果目標：ITCにおける邦人職員増強を図る 活動指標：ITCにおける邦人職員数の増加、邦人職員増強に向けた日ITC双方の取組		約280名職員がいる中、2013年迄日本人職員は1名のみであったが、2014年から、JPOの採用で1名増員、計2名となっている。欧米におけるブランドアパレルメーカーとの戦略提携はほぼ一段落、今後は購買力の大きい日本市場におけるパートナー発掘、JICA、JETRO等の機構、小売、商社等販売網との戦略パートナー関係構築、協業拡大が求められるところ、邦人職員増強に向けた取組が期待される。	
2. PDCAサイクルの確保		①計画段階（Plan）：ITCからの要求、予算計画、使途予定を入手、我が国の関連政策（国際協力大綱、TICADでの決議事項等）に照らしつつ、予算要求。②実施段階（Do）：ITCのJAG（年に1度の総会）ハイレベルを含む不定期の協議を通じて、ITCの活動をモニタリング。③評価段階（Check）：ITCによる内部評価報告書、国連会計監査委員会による外部監査報告書により成果を評価。④フォローアップ（Act）：ITCの総会、ハイレベルな会合における対話の機会を通じ、必要に応じて改善を提言。	
担当課・室名	経済局国際貿易課		